

横木楠郎

ヨコキナヲロ

児童文学者。

明治二十一年八月一日岡山縣生れ、昭

和二十一年九月十五日歿（一九八一—一九五五）。本名楠男。筆名マキモト

オオ、小泉禮一、楠郎等。早稻田大學中退後、郷里で農業の傍ら雑誌

『文藝戦線』の寄稿。昭和二年上京し、労働藝術家聯盟、前衛藝術家

同盟を経て全日本無産者藝術聯盟（略稱ナツポ）に参加。翌年新興童

話作家聯盟を組織し、四年機関誌『童話運動』発刊。

編著書『古川備前氏謠集』（編、大正十四年二月）二十八日郷土研究社

「爐邊夜話」（一）、『昭和詩集』（安田留之介保樹共編、昭和二年一月）

十五年新進詩人社）、『プロレタリア児童文学の諸問題』（昭和五年

四月）二十一『世界社』、プロレタリア童話集『赤い旗』（昭和五年五月五日

紅土堂書店）、『プロレタリア童話講話』（昭和五年六月五日紅土堂

書店）、童話集『小まごの向志』（川崎大治共編、昭和六年七月

）二十五日自由社）、『新児童文学理論』（昭和十一年七月八日東京書

房）、『春の教室』（昭和十四年二月十八日童話春秋社）『小學生童

話』（一）、『猫と誕生台』（昭和十四年十一月五日喜山房）『喜山房百科

文庫』（一）、『児童文化・上』（合著・教育科學研究會—小川一郎・菅

原誠一編、昭和十六年一月）『五日曲村書店』、『少年國民劇集』（合

著・阿貴良一編、昭和十六年九月十五日興亞書局）『興亞少年少女文

庫』（一）、『月夜の蜜柑山』（昭和十六年十一月十五日フタバ書院）、

『新撰童話讀本・四の巻』（昭和十七年九月十五日

金の星社）、『海の上的祭』（昭和十八年六月）『キ

五日泰光堂』、『サイリピン』童話集『柳子の實と子供』（昭



和十八年九月一日大阪・増進堂）『大東亞童話叢書』（一）、『太鼓の鳴

る村』(昭和二十一年十月十日大阪・昭報出版株式會社「新日本童話叢書」)、
 『こころの大陽』博野童話集』(昭和二十二年七月二十日大阪雄辯會講談社)、
 『花雷軍』(昭和二十二年十月二十日櫻井書店「こころの文庫」)、
 童話集『星と人間とこびきの蛙』(昭和二十四年四月十日發育社「發育文庫」)、
 『小學一年生文學讀本』(合著・兒童文學者協會編、昭和二十四年五月五日河出書房)、
 『ひらがな』『わらうたさかえ』(昭和二十四年九月二十日山本書店)、
 『新しい日記の書き方』(昭和二十六年一月十日泰光堂)等。

